## 第10回KBC学園杯争奪 第23回沖縄県中学校新人軟式野球大会 大会要項

- 沖縄県野球連盟 1. 主
- 2. 共 催 沖縄タイムス社
- 管 3. 主 沖縄県野球連盟 4. 協 学校法人KBC学園グループ 替
- 援 5. 後 金武町教育委員会 南城市教育委員会 嘉手納町教育委員会 豊見城市教育委員会
- 令和元年12月26日(木)~28日(土) 6. 期  $\exists$ 予備日29日(日)
- 7. 目 程 26日(木) 開会式 16:00~『21世紀の森 屋内運動場』

選手集合15:00

『労働福祉センター』 監督会 15:00

1 回戦 · 2 回戦 27日(金)

競技開始 9:00 競技開始 9:00 28日(土) 準決勝・決 勝・閉会式

27日(金)『金武中学校』『南城市新開球場』『瀬長島野球場1・2』 28日(土)『嘉手納野球場』 8. 会

※大会運営上、日程変更や会場を変更または移動しての試合もあり得る。

- (1)沖縄県内の中学校に在籍する1・2年生の生徒で編成されたチームで各地区の代表となった 9. 参加資格 チームとする。なお、1校1チームとする。
  - (2) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
  - (3) 1 チームは選手 2 0 名、監督 1 名、コーチ 2 名、記録員 1 名の計 2 4 名以内とする。
  - (4)選手の引率、監督は出場校の校長・教職員・部活動指導員とする。教員以外のコーチについては 学校長が認めた者で、地区・県に登録された者とする。但しベンチ入りについては1名のみとする。
  - (5)参加資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」
  - (6)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。
  - (7)九州大会の出場資格を獲得した際、派遣可能な学校を本大会の参加条件とする。
- 10. 出場チーム 県内7地区代表16チーム

地区	国頭	中 頭	那覇	久米島	島尻	宮 古	八重山	計
割当数	2	4	3	1	2	2	2	1 6

- 11. 競技規則 (1)2019 年公認野球規則および全日本軟式野球連盟特別競技規則、本大会競技規則・特別規則に則って 行う。
  - (2) 競技方法はトーナメント方式とする。
  - (3) 試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。また、 日没、降雨のコールドゲームについては全試合5回以降成立とする。日没・降雨などで試合が成立 しない場合は、特別継続試合を適用する。(サスペンデッドゲーム)
  - (4) 7回を完了して同点の場合は、タイブレーク方式とする。(継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、 その前の打者を二塁の走者とする。すなわち0アウトー・二塁の状態にして行う。)10回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまでタイプレーク方式を続行する。※天候の都合で日程変更がある場合 は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。
  - (5)背番号は $1 \sim 20$ 番を使用し、原則としてポジション順とする。
  - (6)投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。ただし、タイプレーク方式の直前のイニングを投げきった投手に限り、1日最大9イニングまで投げることが できる。タイブレークとなった場合に投げることのできる投手は、タイブレーク方式の直前を投げ きった投手か、新たな投手(その日1球も投げていない選手)に限り、1日2イニングまで投げる とができる。投球イニングに端数が生じたときの取扱いについては、3分の1回(アウト1つ) 未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。
  - (別紙「投球制限に関する確認事項」参照)
- 12. 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認内外ボール M 号球とする。
- 令和元年12月12日(木)沖縄市運動公園「陸上競技場会議室」において本部抽選により決定し、 13. 組み合わせ 後日、沖縄県中学校野球専門部 HP (https://okifffbb.web.fc2.com/)にて発表する。
- 彰 (1)優勝校には優勝旗、優勝盾、賞状を授与する。 14. 表
  - (2) 準優勝校には準優勝盾、賞状を授与する。
  - (3) 3 位表彰も行う。
- 15. 参加申し込み (1)出場資格を得たチームは、沖縄県中学校野球専門部 HP (https://okifffbb.web.fc2.com/)より所定の 大会申込用紙に必要事項を記入し捺印を受け、大会参加料1万円を添えて12月10日(火)までに 嘉数中学校へ直接持参するか、郵送で申し込む。なお、大会冊子用データを下記のアドレスに 12 月 10 日 (火) までにメール送信すること。 **(okifffbb2007@yahoo.co.jp)** 
  - (2) 選手変更届は、沖縄県中学校野球専門部 HP よりダウンロードし、校印を押印して原本1部・ コピー4部を監督会で提出する。

沖縄県宜野湾市我如古423番地 宜野湾市立嘉数中学校 【申込先】  $\mp 901 - 2214$ 沖縄県中学校体育連盟野球専門部長 島 健太 宛

- 16. 旅費宿泊費 本大会における旅費・宿泊費はすべて参加チームの負担とする。
- 17. その他 (1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。
  - (2) 大会出場中の選手の傷害は、大会本部において応急処置を行い、後は各学校で処理する。
  - (3)大会参加の際、健康保険証のコピーを持参すること。
  - (4)優勝チームには第17回九州中学生選抜軟式野球大会(令和2年3月福岡県開催)への出場資格を 与える。
  - (5)第11回全日本少年春季軟式野球大会の優勝チームが今大会で優勝した場合は、大会日程が重なる ため、準優勝チームに九州選抜大会への出場資格を与える。

## 第10回KBC学園杯争奪 第23回沖縄県中学校新人軟式野球大会 特別規則

- 1. 試合時間 試合は1時間30分と計算し、その60分前までには集合する。
- 2. オーダー交換 (1)オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(5部提出)
  - (2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの 上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
  - (3) 全試合終了後、勝利校の校歌斉唱を行う。参加校は校歌のCD(1番のみ) をオーダー交換時に 提出する。
- (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。 3. ダッグアウト 登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
  - (2) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
  - (3) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
- 4. シートノック (1)シートノックは、1回戦と準決勝のみ後攻より行う。時間は5分間とする。但し、天候の理由 からシートノックを行わない場合もある。
  - (2)シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。なお、ユニフォームを着用した登録外 の生徒(5名以内)を認める。
  - (3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。
- (1)中学生にふさわしい応援をする。 5. 応
  - (2) 応援は攻撃側のチームが優先に行う。
- 6. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、 タイブレーク方式となった場合は、2イニングに1回行くことができる。また、攻撃側につい ても同様とする。

7. 監督が投手の所へ行く回数の制限

監督が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、タイブレー ク方式となった場合は、2イニングに1回行くことができる。

監督が同一イニングに同一投手の所へ2回目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自 動的に交代しなければならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手 には戻れない。

- (1) バットリング、トレーニングバットの使用を禁止する。(但し、マスコットバットは使用可)(2) 手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。 8. 用 具

  - (3) ストッキングの形をしっかりと統一する。
  - (4)全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。
  - (5) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った捕手用ヘルメット・マスク・スロ ートガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・ 次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク (J.S.B.B.) が入った 両側にイヤーフラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
- 9. 試合のスピード化
  - (1)ベースコーチ・打者・次打者の4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動 すること。
  - (2) 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
  - (3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
  - (4) 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。 投手も必ず次打者席に入 ること。
  - (5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見ること。
- 10. そ  $\mathcal{O}$ 他
- (1)チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、監督・コー チのシューズについても同色とする。コーチ(教職員)の服装は平服(白を基調としたポロシ ャツ・同一の野球帽)とする。但しノックをする者はユニフォーム着用のこと。また、記録員
- はユニフォームか制服とする。(2)選手交代は、監督が球審に告げること。
- (3) 球場内においての試合前の練習はユニフォームを着用すること。
- (4) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。
- (5) 試合中のアップ (キャッチボール) については2組 (4名以内) とする。
- (6) 大会運営上、天候によっては場所を移動しての試合もあり得る。
- (7) 各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタン ドを清掃する。